# Demo1

新しいデータベースを作成する ssistest

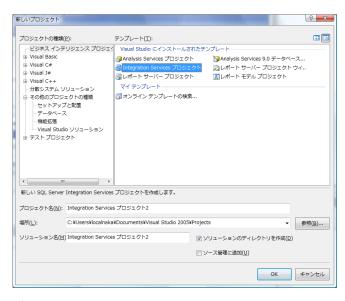
新しいテーブルを作成する



テーブル名は import

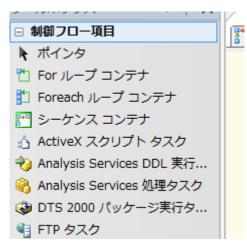
元ネタ.txt を見せる

Visual Studio を立ち上げる 作成・プロジェクト ビジネスインテリジェンス・IS プロジェクト

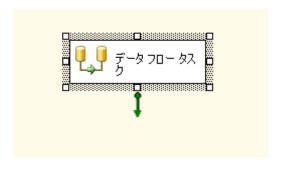


デフォルトで作成

ツールボックスの中身を見せて



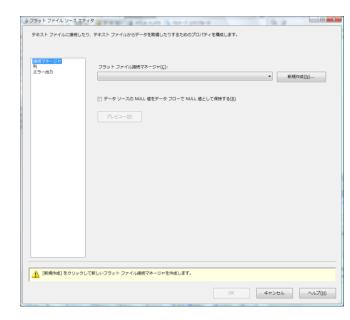
データフローを落とす



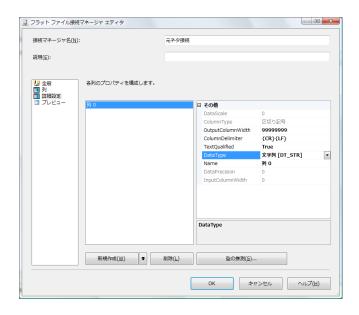
ダブルクリックして

フラットファイルから読み込むので、変換元にフラットファイルソースを配置

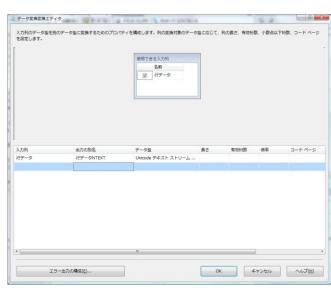
ダブルクリックで編集

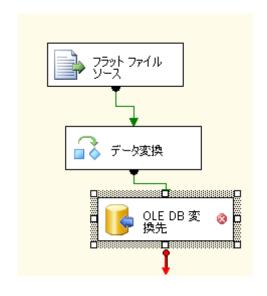


接続マネージャがないので、新規作成 各種設定をするが、詳細設定列だけ入念に OutputColumnWidth は8000 にしておく



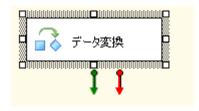
データ変換で N\_TEXT に変換する



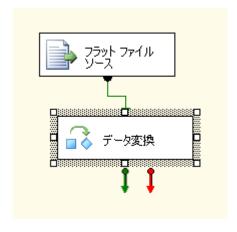


接続先を設定する

# 次にデータ変換タスクを置く



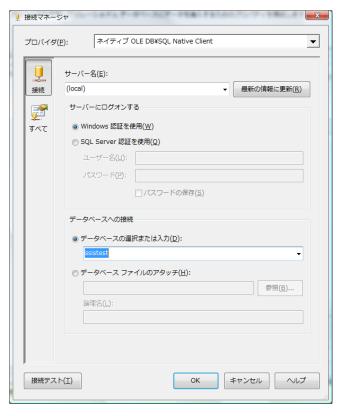
# つなぐ



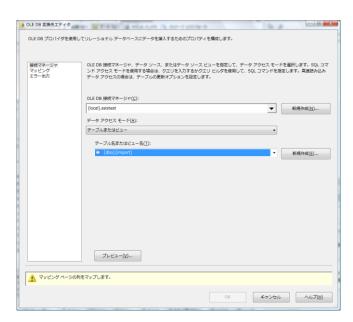
# 次は OLEDB 変換先を置く



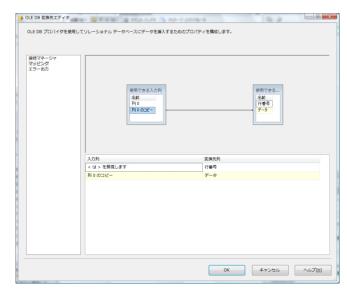
つなぐ



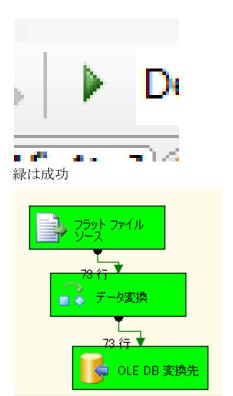
カンタンチン



マッピング



実行や



SSMS で確認

よっしゃできてるで。

#### データ

らんが加盟しました。

2007/06/04 mさん、mxbさん、fさん、iさん、kさん、aさん、hさんが加盟しました。

2007/06/02 東京勉強会#8を59名の参加者で行いました。

2007/05/29 haraChanさん、いしださん、barlogさん加盟しました。

2007/05/18 大阪勉強会#9を15名の参加者で行いました。

2007/05/16 mさん、tatsumihrさん、bさん、きょろさん、mさん、ddnpさん、はねさん、tさん/

2007/05/12 東京勉強会#7を19名の参加者で行いました。

2007/04/28 大阪勉強会#8を50名の参加者で行いました。

2007/04/23 cさん、ふじさきさん、usayさん、まさるさん、sanderiさん、りょーいちさん、片析

2007/04/14 東京勉強会#6を52名の参加者で行いました。

2007/04/12 xさん、wさん、やじゅさん、harusameさん、hさんが加盟しました。

2007/03/26 かつのりさん、kztさん、虚蝉さん、けろさん、CH3COOHさんが加盟しました。

2007/03/23 東京勉強会#5を23名の参加者で行いました。

2007/03/16 大阪勉強会#7を24名の参加者で行いました。

# Demo2

おかねテーブル

LOCALNAKA-PC.ssiste	est - dbo.おかね	
列名	データ型	Null を許容
金額	money	
<b>)</b>		

テストデータを入れておく

	金額
	100.0000
•	200.0000
	300.0000
*	NULL

おかね集計テーブル

LOCALNAKA-PC.sest - dbo.おかね集計		LOCALNA	(A-P
列名	データ型	Null を許容	
集計日時	datetime		
集計結果	money		
<b>)</b>			
<b> </b>	;		

SQL 実行タスクをぽとぺた



コネクションを設定する コマンドを設定する insert into おかね集計 select getdate(), sum(金額) from おかね

実行



とりあえず成功

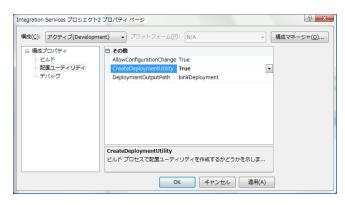


はいってまーす

	集計日時	集計結果
•	007/06/18 23:49:17	600.0000
*	NULL	NULL

パッケージをインストールしましょう プロジェクト→プロパティ

Create Deployment Utility = True



Ctrl+Shift+B

Explorer でさぐりあてる

.SSISDeploymentManifest をクリック

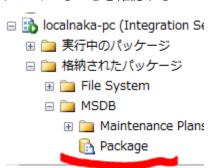


完了

Integration Service に接続



# 入っていることを確認する



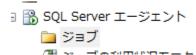
#### エージェントの有効

exec sp\_configure 'Agent XPs', 1
go

# reconfigure

go

エージェントを起動して ジョブの新規作成



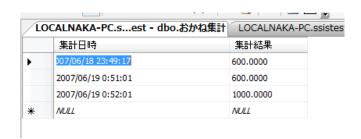
ステップの新規作成

ステップ名(N):	
BSISパッケージの実行	
種類(T):	
SQL Server Integration Service	s パッケージ
実行するアカウント名(R):	
SQL エージェント サービスのアカウン	ν <b>ト</b>
検証   コマンドライン     全般   構成   コマンドファイ	ル データソース 実行オブション ログ記録 値の設定
パッケージ ソース(O):	SQL Server
サ−/╎ʹー(E):	(local)
サーバー ログオン	
◎ Windows 認証を使	用する(W)
● SQL Server 認証を	を使用する(S)
ユーザー名(U):	
パスワード(P):	
パッケージ(K):	
¥Package	

ジョブとパッケージは削除しておきましょう。

スケジュールの作成 定期的,毎日,間隔1分

これで1分に1回流れ始めます。 おかねを追加してみたりして、集計が変わることを 確認しましょう



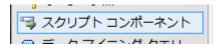
はい大成功

#### デモ3

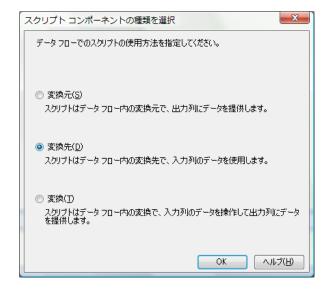
もう一度フラットファイルソースを作成する。



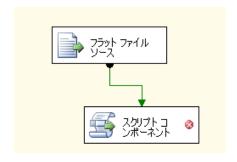
# スクリプトコンポーネントをDD



# 変換を選ぶ



つなぐ



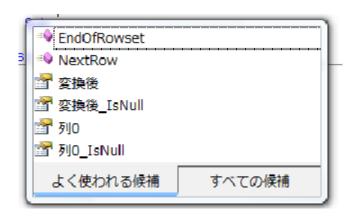
出力列を作る

型は NTEXT



スクリプトのデザイン

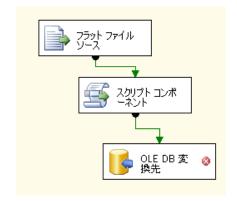
Row.



参照設定もできるよー

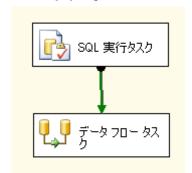
適当に編集するようにする

# OLE DB に出力する



もちろんマッピングを忘れずに

あそうそう、データが残っちゃってるから、毎回消 しましょうね。



実行



#### デモ4

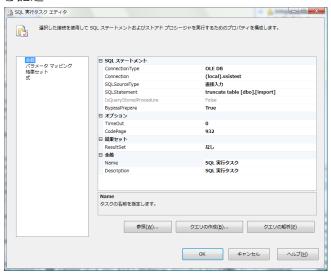
# SQL 実行タスクを追加



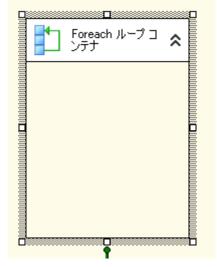
# Connection を設定

# SQLStatement & truncate table [dbo].[import]

#### を記述

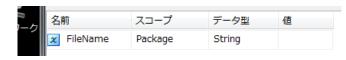


For-Each コンテナを置く

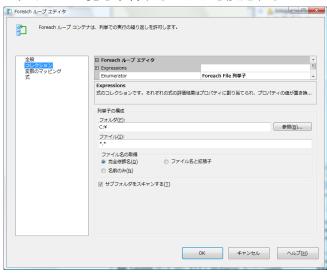


つなぐ

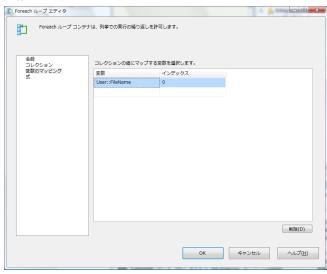
# 変数を作成する



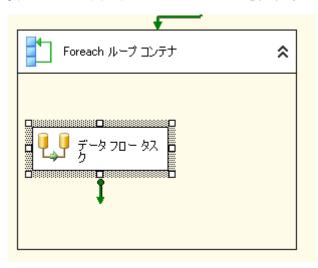
# ファイルの一覧を取得するところを設定する



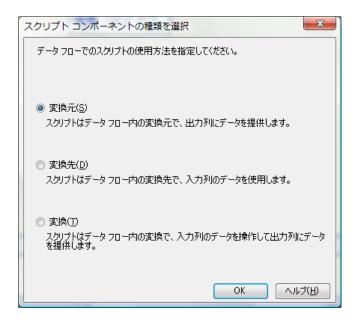
変数のマッピングをする

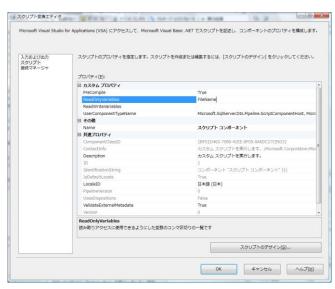


次にコンテナ内にデータフロータスクを入れる



スクリプトコンポーネントを置く 今回は変換元





 スカ州のアータ型を持のアータ型に交換するためのプロパティを構成します。列の皮換対象のアータ型に応じて、列の長さ、有効物数、小袋点以下砂製、コードページを設定します。

 使用できる入力列

 を刷

 ジ ファイル名

 ファイル名

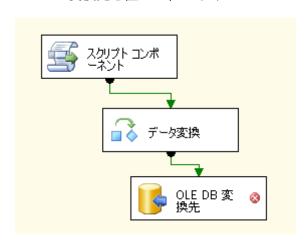
 ファイル名のコピー

 Lacodo テキストストリー

 エラー出力の構成(E)...

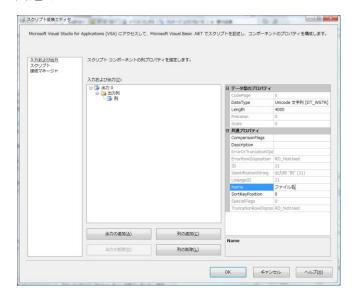
 OK
 キャンセル
 ヘルプ(E)

OLEDB 変換先を置いて、つなぐ



テーブル import を指定

#### 列追加



今回は DT\_WSTR 4000 Name=ファイル名 ReadOnlyVariables に FileName を記述

コードを書く

スクリプトに移動

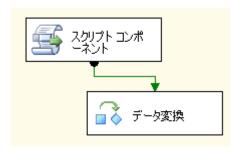
Me. 出力Buffer. AddRow()

Me. 出力Buffer. ファイル名=

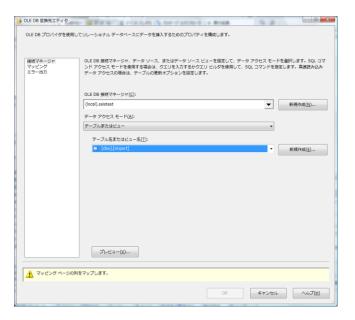
Me. Variables. FileName

AddRow 忘れるな

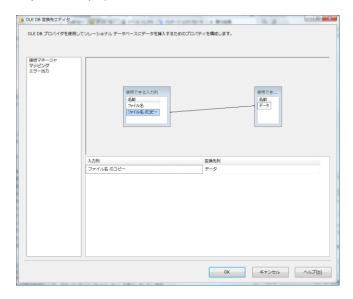
データ変換を置いてつなぐ



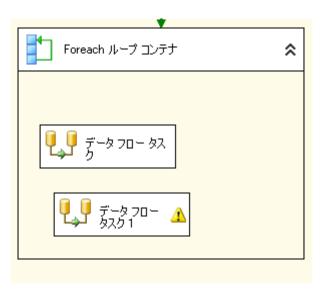
DT\_WSTR を DT\_NTEXT に変換



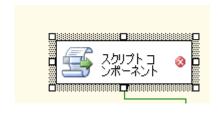
マッピングする



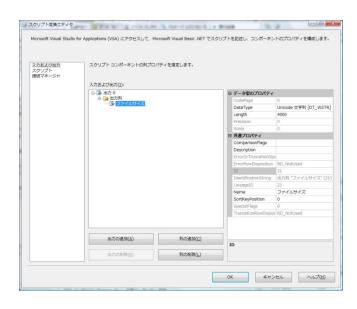
制御フローに戻って、データフローをこぴぺ



スクリプトを開く



出力列をファイル名からファイルサイズに変更



#### コードを書く

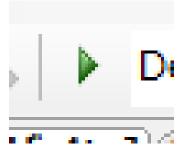
Me. 出力Buffer. AddRow()

Me. 出力Buffer. ファイルサイズ= New

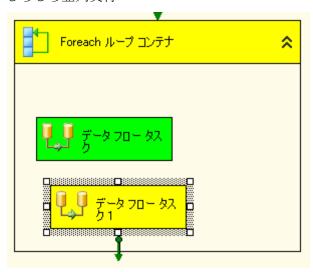
System. IO. FileInfo (Me. Variables. FileName). Length . ToString ()

データ変換で変数名を変更しましょうね。 出力先も確認しましょう。・

実行



# じらじら並列実行



# こんな感じで完全に並列処理成功

	) =3
4	293029888
C	:¥img2-001.raw
C	:¥pagefile.sys
C	:¥Program Files¥desktop.ini
С	:¥Program Files (x86)¥desktop.ini
3	08016
C	:¥temp¥nahuda2.design
2	18
1	5230
С	:¥Users¥desktop.ini
5	5296
C	:¥Windows¥bootstat.dat
1	2
C	:¥Windows¥DPINST.LOG